

【小学校・2年・生活・「小さな友だち」】

育成を目指す資質・能力

B2（調査活動）

C2（協働での意見整理）

継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について関心をもって働きかける。内容（7）

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト カメラ機能 ウェブブラウザ

生き物を見付けたり、活動を振り返ったりする際に、1人1台端末を活用して見付けた生き物を振り返ることで、興味や関心をもったり大切にしようとしたりする気持ちをもつことにつながる。また、1人1台端末の活用により児童が共有しやすく、活動の広がりをもたせることに有効である。

学習の流れ

身近な生き物について話し合う。

校庭で生き物を探す。生き物マップを作成する。

飼育方法を調べる。生き物の世話をする。記録をとる。

活動を振り返る。

事例の概要

本事例は、1人1台端末を活用して、児童が生き物との関わりについて自分で振り返ったり友達と共有したりすることを通して、身近な生き物に親しみをもつことができるようにした実践である。

児童が身近な生き物を校庭で探す際に、1人1台端末のカメラ機能で撮影して記録し、それを学習支援ソフトに保存した。探した生き物を記録した静止画をもとに、どのような生き物がどのようなどころにいるのか、生き物マップを作成した。

生き物の世話をする際には、児童が思ったことや感じたこと、調べたり世話をしたりしてわかったことなどをカメラ機能で記録し、保存して、児童自身が振り返ったり生き物との関わりについて考えたりするようにした。

自分の活動を振り返る際にも活用ができるようにした。

【小学校・2年・生活・「小さな友だち」】

【1人1台端末のカメラ機能を使う】



【インターネット検索とファイル共有】



ICT活用のポイント

○身近な生き物を探したり調べたりしてそれを記録し、共有する。

- 校庭で生き物を探す場面では、見付けた生き物に関心を持ち、どのような場所にいるのか、どのように飼育したらいいのかということにも興味や関心をもつことが予想され、次の活動につながっていく。写真は雨天時だったため教室へ持ち帰って飼育したいという児童の要望に教師がこたえ、1人1台端末のカメラ機能を使っている場面。撮影した写真を児童同士でファイル共有することもできる。
- 記録したものや調べたことを共有する場面では、主体的に活動し、どのような場所にどのような生き物がいるのかお互いに教え合うのはもちろん、ICT活用についてもお互いに教え合う姿も見られた。
- 1人1台端末のカメラ機能を使って、継続したお世話の記録を行い、その活動を振り返る活動にも生かされる。
- 1人1台端末を使用することが目的とならないようにするために、校庭での活動には十分に時間をとって行う。また、場所の違い、天候の違いなどについても、教師が児童に声かけをして問いを持たせたり、児童の気付きを取り上げたりするなど、気付きの質を高める活動を進める必要がある。

小学校2年・生活 「小さな友だち」 内容（7）

使用機器：大型ディスプレイ

使用したソフトや機能：学習支援ソフト、ホワイトボードソフト、カメラ機能
ファイル共有、ウェブブラウザ

〈ICT活用のポイント〉

- ① カメラ機能で写真を撮り、ホワイトボードソフトで配付したワークシートに貼り付ける。雨天時は、次の活動に向けて、インターネット検索を行う。
- ② 学習支援ソフトで、配信・回収することで、個々の作品をファイル共有する。

1 単元の目標

継続的に生き物を飼育する活動を通して、生き物の生態、変化や成長の様子について考え、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、生き物に親しみをもち、大切にすることができるようにする。

2 単元の評価規準

単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元における評価規準	1		① 虫などの身近な生き物について、知っていることを表現したり、伝え合ったりしている。	① 虫などの身近な生き物について、自ら進んで関心をもち、関わろうとしている。
	2	① それぞれの生き物には、それぞれに適した生活環境があることに気付いている。	② 飼いたい生き物のすみかやえさについて、その生き物の特性を考えながら、工夫して用意している。	
	3	② 生き物には、変化や成長があることに気付くとともに、継続的に世話をすることの大切さに気付いている。 ③ 生き物の変化や成長について、継続的に観察し、状態に応じて工夫して世話をしている。	③ 生き物の変化や成長の様子について継続的に観察し、これまでの様子とも比べながら、気付いたことを表現している。	
	4		④ これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみようことなどを表現したり、伝え合ったりしている。	② 生き物の世話をすることや生き物のいる生活について、自ら進んで関心をもち、親しみをもって生き物と関わっていかようとしている。

3 単元について

児童は、1年次に「いきものとなかよし」の単元で、学校にいる生き物と関わり、チョウの幼虫や成虫、カエル等を捕まえて観察し、親しんできた。児童は、捕まえた生き物を様々な方向から観察し、たくさんの発見をした。休み時間に虫捕りをする様子も見られ、生き物への関心が高まった。

本単元の「小さな友だち」では、1年次の経験をもとに学校周辺にいる生き物を想起し、探すところから始まり、実際に捕まえて継続的に飼育する活動に取り組む。継続的に飼育をするためには、食べ物やすみかを適切に整える必要が出てくる。不適切な環境では、生き物がすぐに息絶えてしまう。自分の捕まえた生き物が快適に暮らせる環境について調べたり整えたりする活動を通して、生き物の様子の変化や生命に気付き、それらを大切にしようとする思いが出てくるだろう。

指導にあたっては、児童の見付けたい、飼ってみたい、調べたいという思いや願いを大切にしながら学習を進めていきたい。そのためには、校庭を探検したり、生き物の育て方について調べたり、生き物を継続して飼ったりする活動を取り入れる。また、学習過程の記録を撮ったりそれを使って自分の学習を振り返ったりする場面では、積極的にICTを活用して、学習に生かしていきたい。

4 指導と評価の計画（12時間）

小単元名	学習活動	評価規準	評価方法・備考
1 何があるかな、どこにいるかな (2)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生き物について知っていることを出し合い、学校にいなような生き物を考える。 校庭に出て、カメラ機能で生き物の写真を撮り、ワークシートに記録する。 各自の記録を見ながら、学校にいる生き物を確認し、学習の計画を立てる。 	態① 思①	※1人1台端末の基本操作や使用上の留意点は事前に指導しておく。 ・行動観察・発言分析 ・ワークシートの分析
2 かってみたいな、できるかな (4)	<ul style="list-style-type: none"> 生き物のいた場所の様子について話し合い、学校マップにまとめていく。 マップをもとに、飼いたい生き物を決め、それらのすみかやえさについて本やインターネット検索で調べる。 環境を整え、生き物を捕まえにいく。 	思② 知①	・行動観察・発言分析 ・行動観察
3 よく見るとおもしろいよ (4)	<ul style="list-style-type: none"> 生き物のすみか環境に目を向け、すみか等を整えながら、継続的に生き物の世話をする。(常時活動) 生き物の成長の様子や友達に伝えたい驚きなどを写真や動画に記録しておく。 生き物の成長の様子や変化について、思ったことや気付いたことを表現し共有する。 	思③ 知② ③	・行動観察・発言分析 ・動画及びワークシートの分析 ・行動観察 ・振り返りの記述の分析
4 みんな生きている (1)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動を振り返り、活動したことや、もっとやってみみたいことなどを伝え合う。 	態② 思④	・行動観察 ・行動観察

5 ICTの効果的な活用について

本単元を通じて、カメラ機能を活用した。児童が、撮った写真をホワイトボードソフト上のワークシートに貼り付け、それを教師が学習支援ソフトで集約した。提出したワークシートを大型ディスプレイで見合うことで、個々の児童の気付きを全体で共有することができた。また、雨天時は、インターネット検索をして生き物について調べ、晴天時と比較した。

低学年の児童にとって、よく見てそれを絵や文で表したり、気付いたことを友達に話して伝えたりする表現活動はとても大切である。見たものや感じたことから自分の気付きを伝えるために、写真を撮って見せたり、印を付けて示したりなど、児童にとっての表現方法に広がりが見られた。